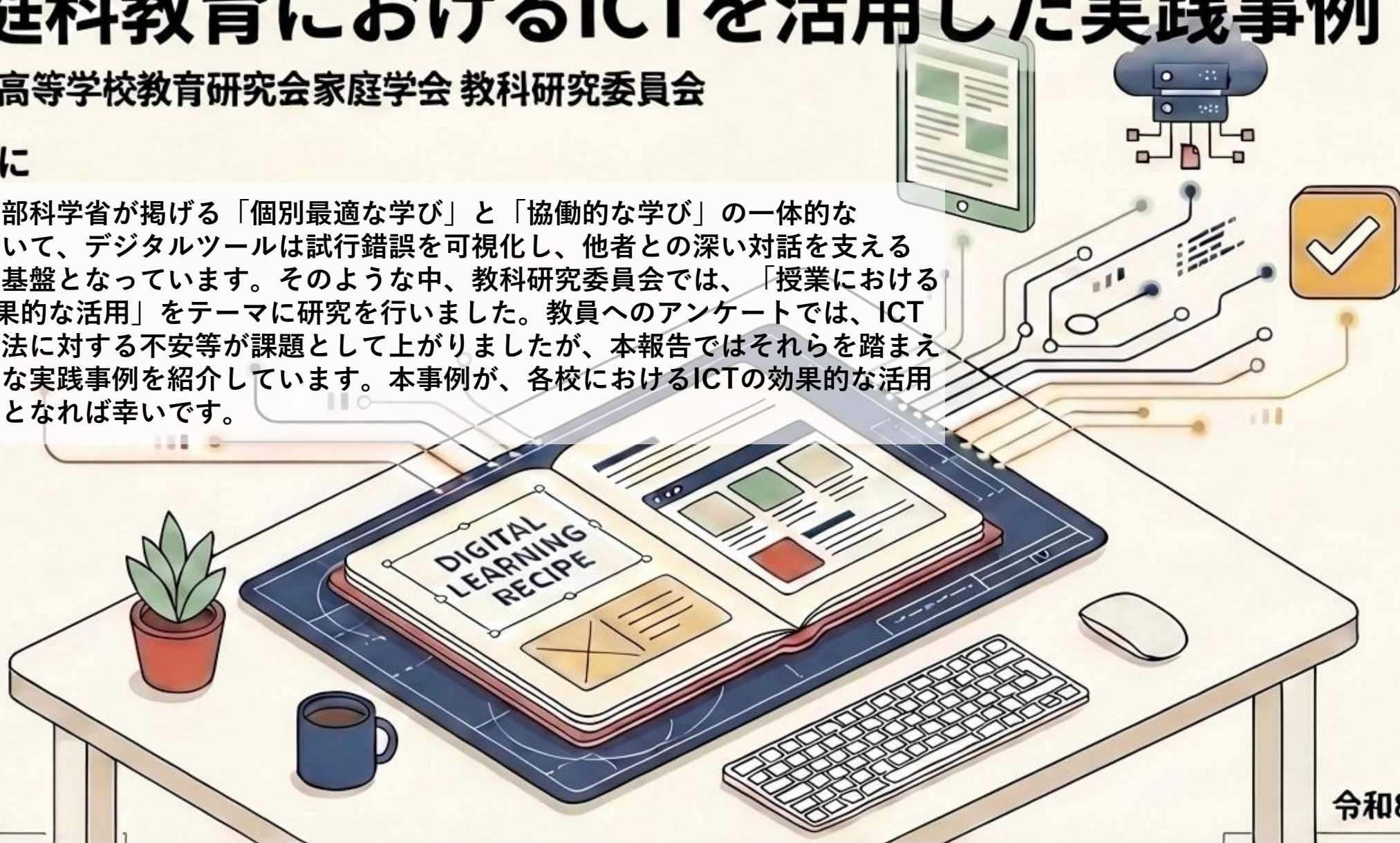


家庭科教育におけるICTを活用した実践事例

徳島県高等学校教育研究会家庭学会 教科研究委員会

はじめに

現在、文部科学省が掲げる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実において、デジタルツールは試行錯誤を可視化し、他者との深い対話を支える不可欠な基盤となっています。そのような中、教科研究委員会では、「授業におけるICTの効果的な活用」をテーマに研究を行いました。教員へのアンケートでは、ICTの使用法に対する不安等が課題として上がりましたが、本報告ではそれらを踏まえた具体的な実践事例を紹介しています。本事例が、各校におけるICTの効果的な活用のヒントとなれば幸いです。



令和8年3月

ICTツールを活用した4事例

協働のクリエイション



Canva

デザイン性の高い資料の
共同制作と発表

ゲーム感覚の定着確認



Kahoot!

授業導入や単元末の知識の
定着と即時フィードバック

個別最適化の伴走



MetaMoJi Classroom

生徒それぞれの進度差への
対応とリアルタイムな見取り

データと効率の連携






Forms / Teams / Webサイト

アンケートの即時グラフ化
と相互評価の効率化

家庭科教育におけるICTを活用した実践事例

徳島県高等学校教育研究会家庭学会 教科研究委員会

	科目	単元名 (タイトル)	ツール・活用概要	活用方法	写真
1	家庭基礎	消費行動を考える	Kahoot! (教員作成のクイズに答える)	Kahootを活用して作成した契約やお金など消費行動に関するクイズ形式の問題に答える (今回は4択問題で実施)。授業の導入での興味付けや、単元末の知識の定着確認に活用できる。即時集計機能を活かし、誤答の多い箇所を重点的に解説して効率的な復習につなげる。	
2	家庭基礎	生涯の経済生活を見通す	MetaMoji ClassRoom (手順掲載による進度差への対応)	家計マネジメントの教材の活用の際し、進行手順をMetaMoji ClassRoomに入れて提示する。家計管理の重要性を体感する教材の活用は、進度差が生じやすいが、班ごとの進度差に対応し、生徒が自分たちのペースで自立的に学習を進められる環境を構築する。	
3	家庭総合	高齢者の食事を計画しよう	Webサイト (企業の栄養計算ツールで栄養バランス評価) Microsoft Teams (作成した献立をクラスで共有)	高齢期の特徴をもとに課題を設定し、課題解決できる献立を作成する。企業のWebサイトを用いて、作成した献立の数値化・可視化する。算出データをもとに、さらにWebサイトを活用して改善した一汁三菜の献立をTeamsで共有し、相互評価を通して学びを深める。	
4	家庭基礎	栄養と食品のかかわり	Canva (スライド作成)	各自が五大栄養素についてCanvaでプレゼンテーション資料を作成し、グループ内で発表および評価を行う。その後、グループで資料を再構成し、学びを統合した全体発表へつなげる。	